



僕専属メイド
ことう
言
な
と
聞
な
い
か
い

夜の奉仕で主従逆転!?

乙丸

[R18版] [増量版]

僕専属メイドが言うことを聞かない ～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第1話



馬鹿げ
ている

こんな
コト...!!



：リラックス
なさって
下さいね





父さんが

あんなこと
言い出さ
なければ
…!!

使用人が
ボクに意見
するの？
メアリー

ボクに
スケジュール
管理など
必要ない！

…では
私の申し出は
お聞き
頂けないと…

当たり前だ！
立場を
わきまえろ

かしこまりました
…それでは
代わりに
24時間体制での
警護をつけるよう
お願いしておきます

坊っちゃんも
ご不便を
感じるでしょうが…
私ができることは
このくらいしか

くすん…

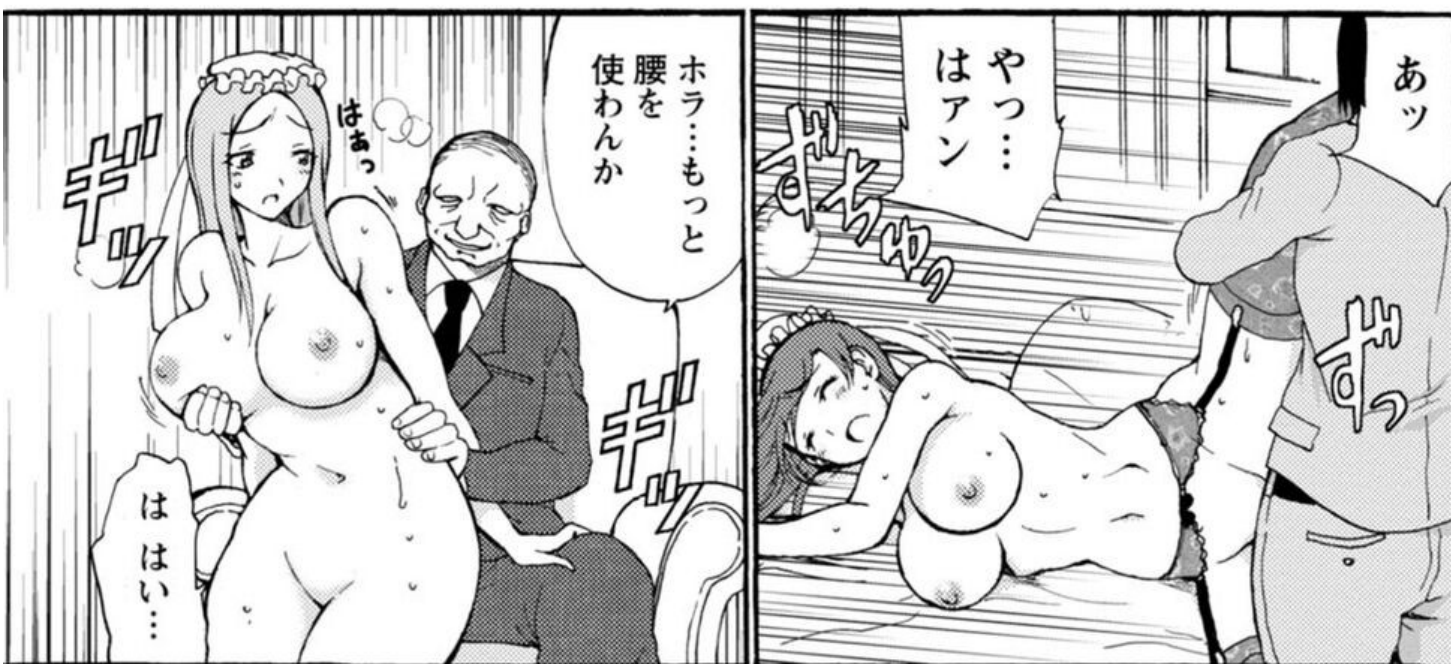
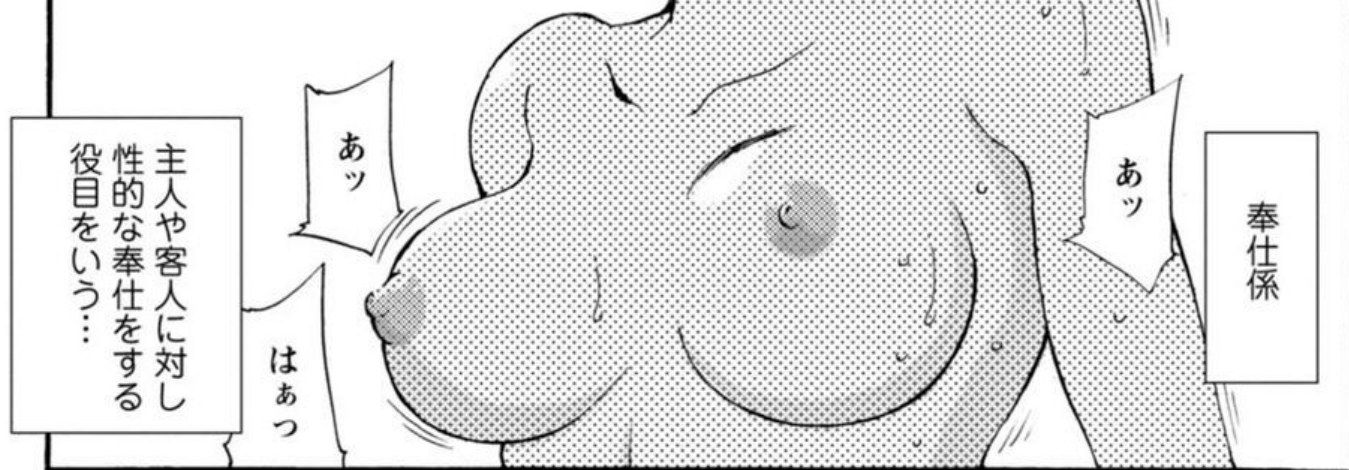
待つ…
待て
メアリー

そこまで
しなくていい!!

では

門限は
お守り頂け
ますね？
坊っちゃん







これをおろそかにしたばかりに

そうした機会に知識不足の為及び腰になってしまった

お相手に充分満足頂けず気まずくなったり

…ほう

僕じゃいざという時しくじるとも!?

ガサ

といった事態にならないとも限りませんし

そうは申しませんが

何事も初めては上手くいかないものですから

いつまでも子供扱いするなよメアリー!

僕だって何も知らない訳じゃないんだ

かしこまりました

うん

そこまで言うなら一晩つき合ってやる

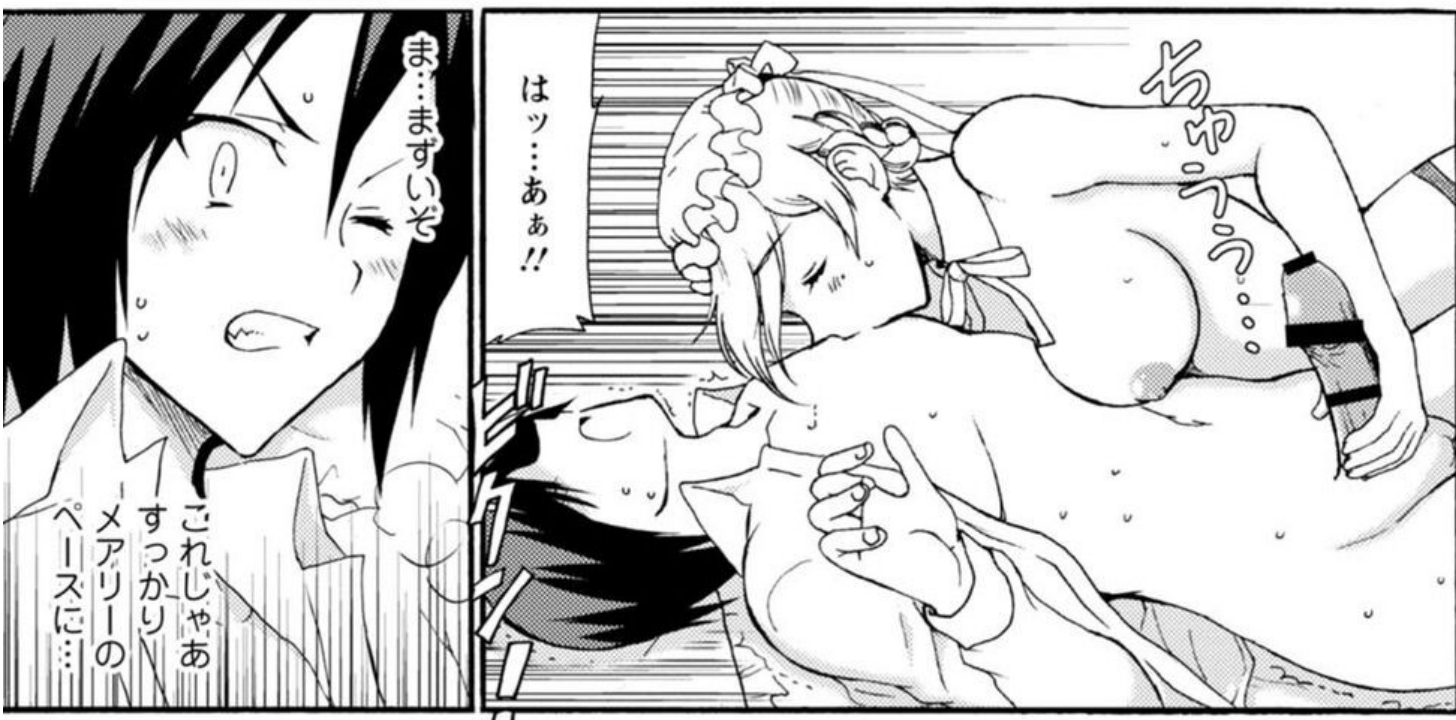
余計な心配はいらないってことをきっちり分かせてやろうじゃないか!!

是非メアリーを安心させて下さいませ











強情ですわねエ...



こんな...
やられっ放しで
いられるか!!

意地でも
耐えきって
やる...!!



いつでも出して
頂いてよろしいん
ですよ?

だ...誰が...
ふざけるな!!



はあああッ!!

ぬ

む

う

う

あッ...

あ



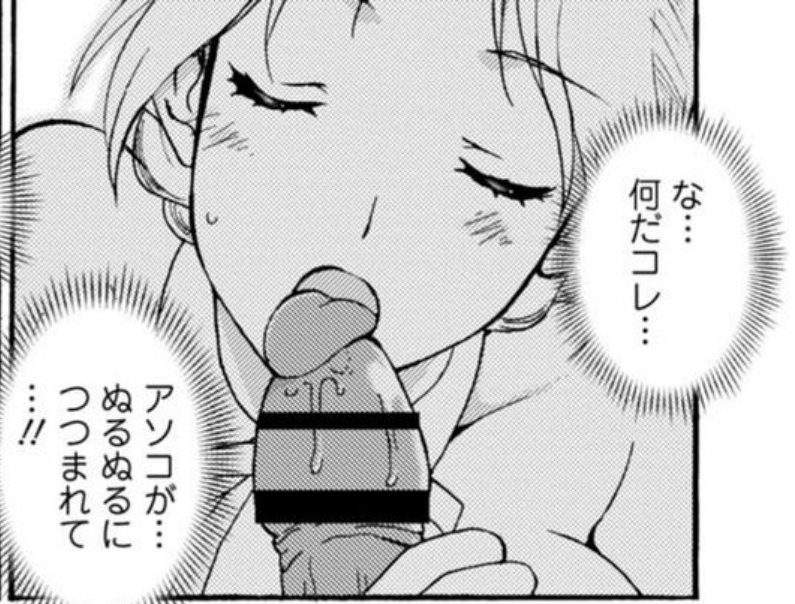
キッ...

!!?



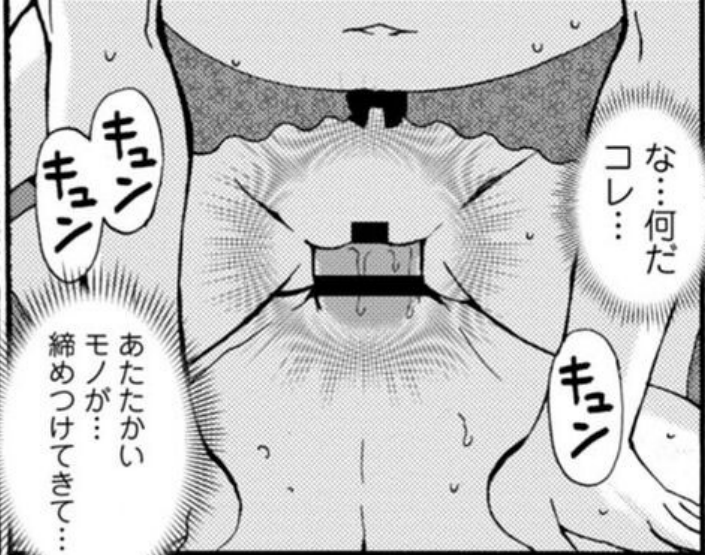
!!

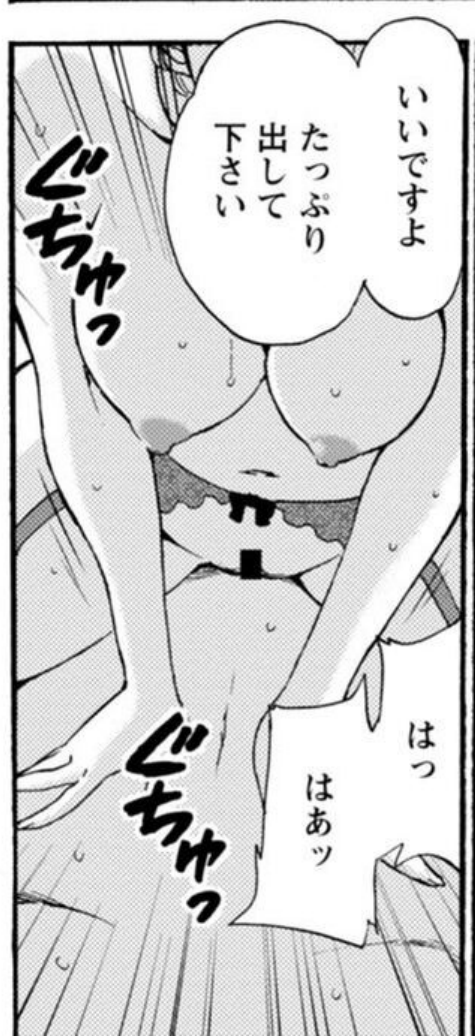
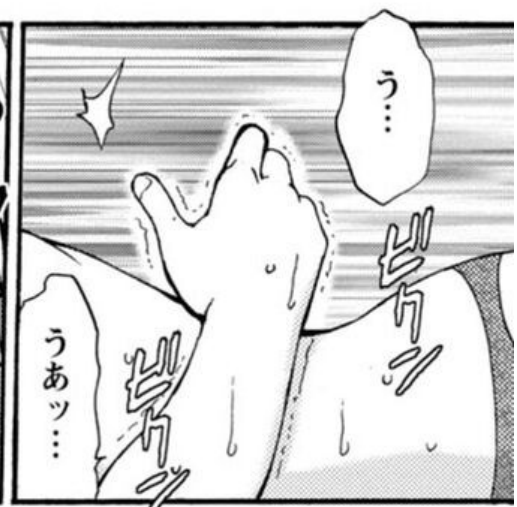
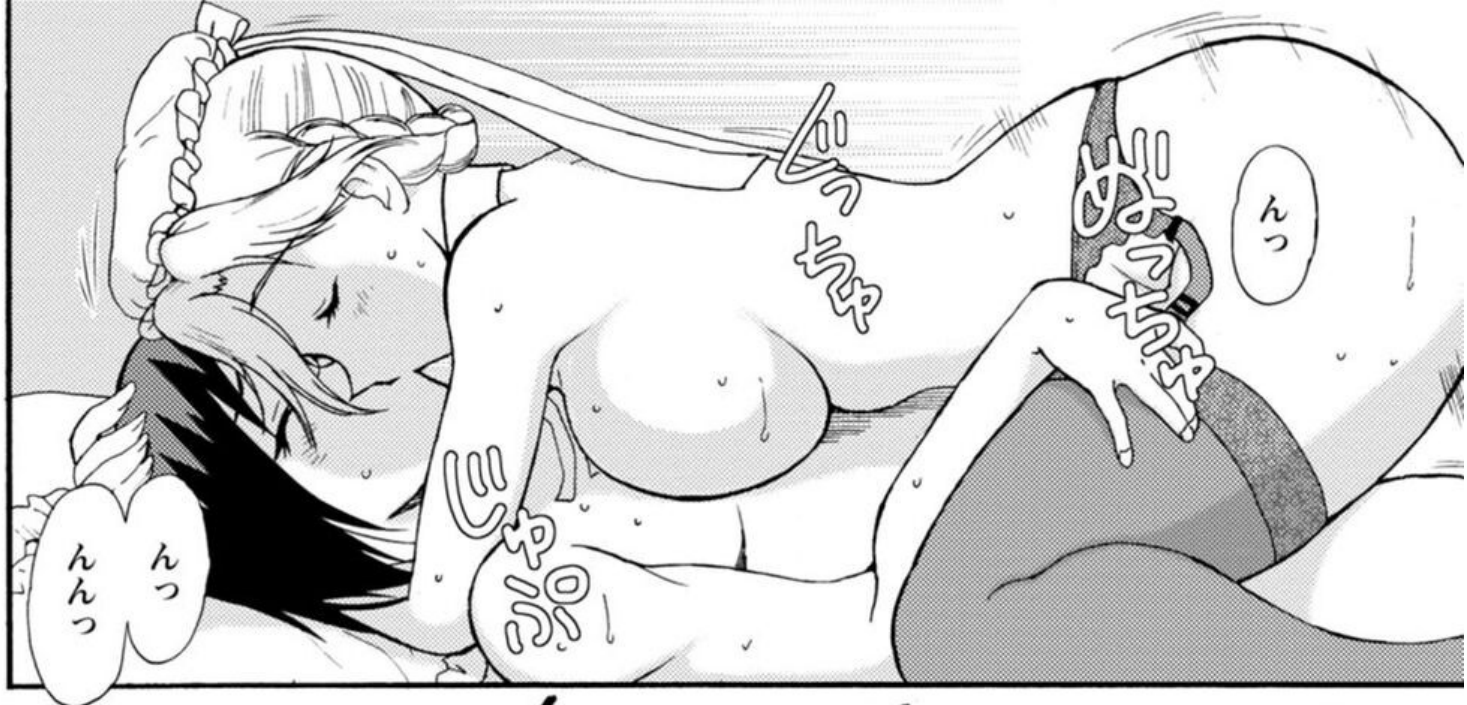
ちゃ...



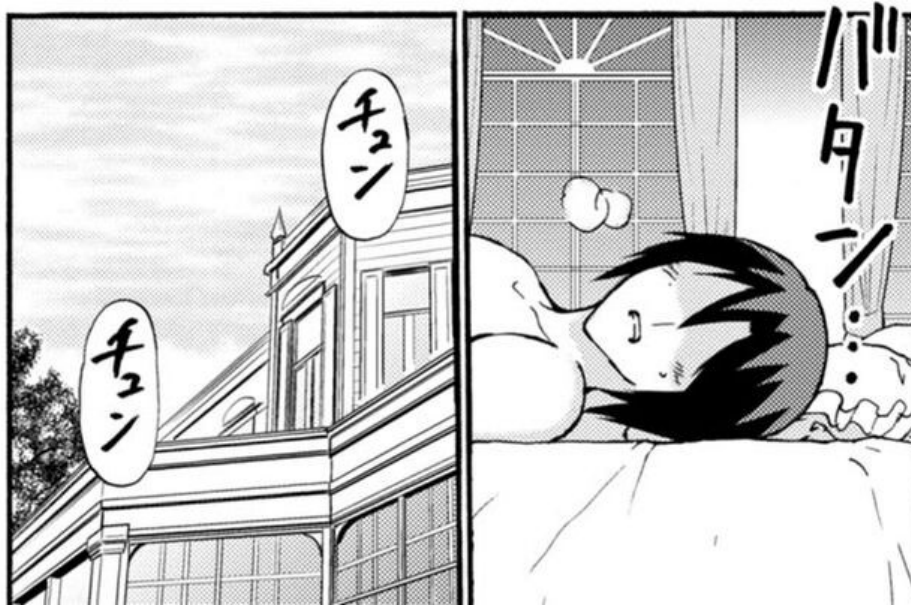
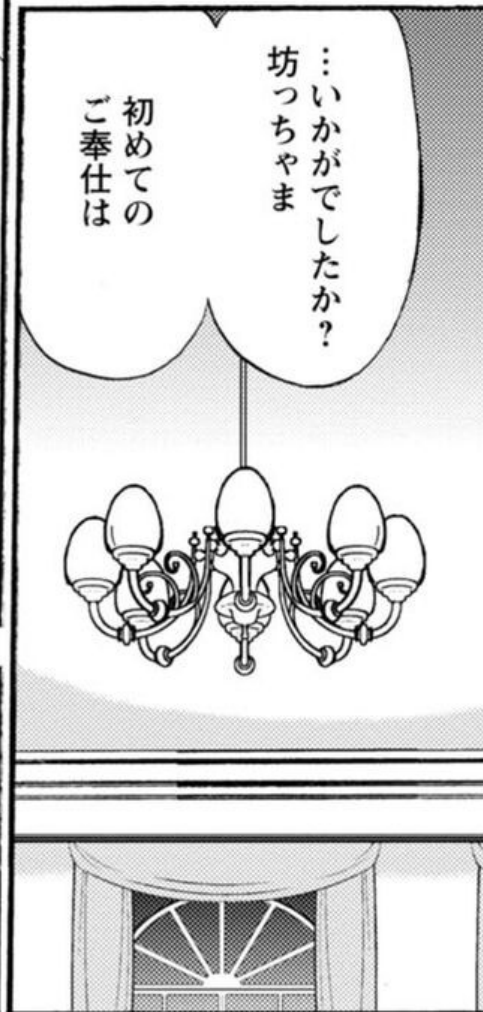














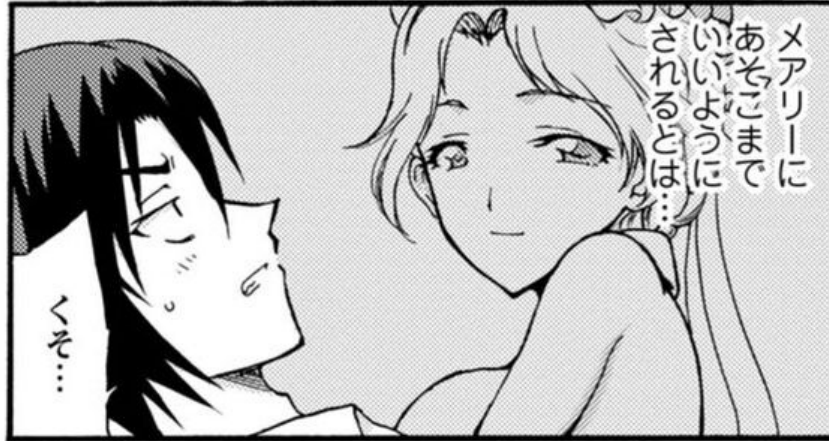
朝か…

昨夜は
さんさん
だったな…



チュン
チュン

チュン



メアリーに
あそこまで
いいように
されるとは…

くそ…



ぬるぬるした
舌先の
感触なんて

思い出す
だけでもう



しかし
気持ち
よかったな…

想像以上
だった



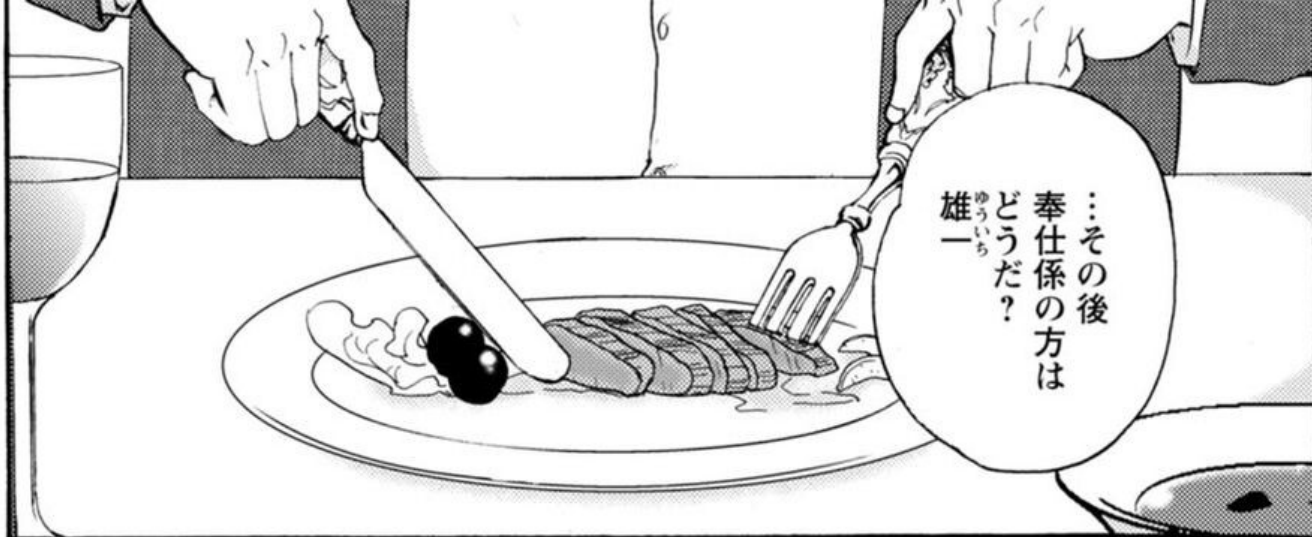






僕専属メイドが言うことを聞かない ～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第2話







…そんなこと
言って
本当は…

そうは
いきません

ん…

ふ…風呂にまで
ついて来なくて
いいと
いうのに…!!



こうやって…
ボ…ボクの
反応を
楽しんでるん
だろ うあッ

これも
奉仕係の
大事な務め
ですから



くそ…まだ
良いように
やられてる

ぞく

ぞく

これじゃ
すっかり
メアリーの
ペースじゃ
ないか



さ…横に
おなり
下さい

?



あら…
とんでも
ございません

くっ…

坊っちゃまの体を
すみずみまで
キレイにする為
ですわ

にゅ

あ

にゅ

うあッ







かわいらしい
声ですね

あはっ
はあッ



はああッ

ほじ

もう
出ちやい
そうですか？

あッ

はあああシンツ!!



うあッ

はっ...

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ぞくっ

ぞく
ぞくっ



ぬ

ぬ

ぬ

はっ...あ...



ん...

ちゅっ...



どうなさいます？
このまま...

まっ...
待って...
待ってくれ!!



だっ...出すなら...
中で...!!

かしこまり
ました



そう...ゆつくり
小刻みに
動かして...

ンッ
お上手です...
坊っちゃま

あっ

ぢゅわん



はっ...

ぬわっ

ふあっ...
うああっ!!



にゆるにゆるって...
からみついてくる
感じが...

うん...

やばいっ...
キモチ
よすぎる
...!!

ひん



はあっ

いい...です

ぬわっ

もっと...
奥をかき回す
ように...

ぢゅわん

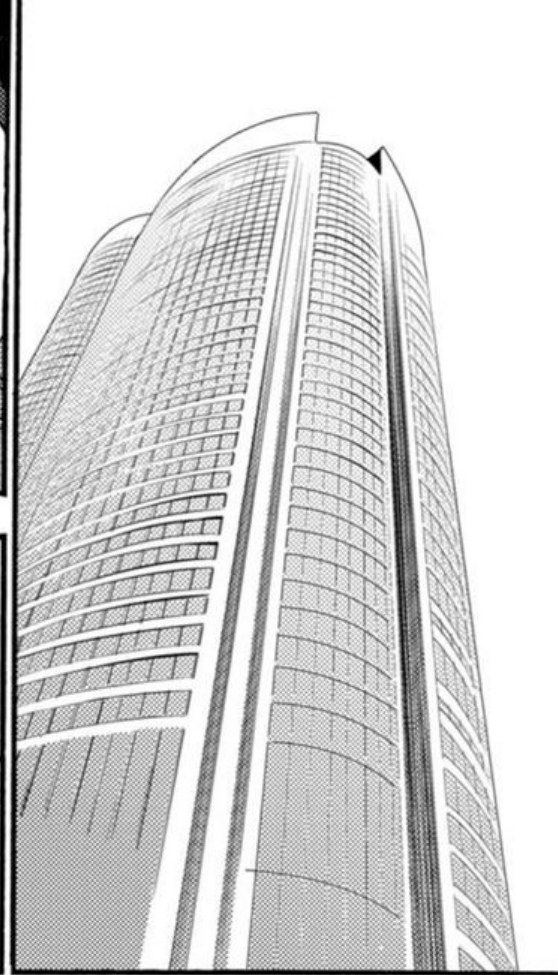


メ...
メアリー
もうッ...

はあ
ぢゅわん

いつでも...
坊っちゃまの
お好きなきに...





名門大に通う
才媛で類稀なる
美貌の持ち主



絵に描いた
ような
深窓の令嬢だ

何より
素直で
純真なのが
いい…！

どこぞの
イヤミっつらしい
小生意気な女とは
大違いだ！！

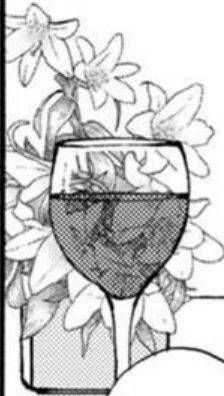


あら

もう…
お父様！！
雄一様は
お忙しい方
なのよ？

いえ…
それが
なかなか
スケジュールが
合いませんので…

2人が婚約して
もう一月か…



どこかに
出かけたか
したのかね？

そんな
無理をさせては
ご迷惑だわ

ハハハ
すまん
すまん

いえ…折角
ですし

今月
どこか
食事にでも
行きませんか

！
よろしい
のですか？

ええ…
お好きな
ところへ
お連れ
します

ぽ

うれしい！！
楽しみに
しています！！

おっ





…そんなに
見つめないで
下さい

はずかしい
です…



大丈夫…
僕に任せて

あ…
雄一様…



ほら…よく
見せてごらん

や…
そんな

はずかし
がらなくて
いいよ…さあ
力を抜いて



…はい…
坊っちゃん

!?



な…? 何で
メアリーが
出て来るんだよ
!!

肝心な
ところで…



かしこまりました



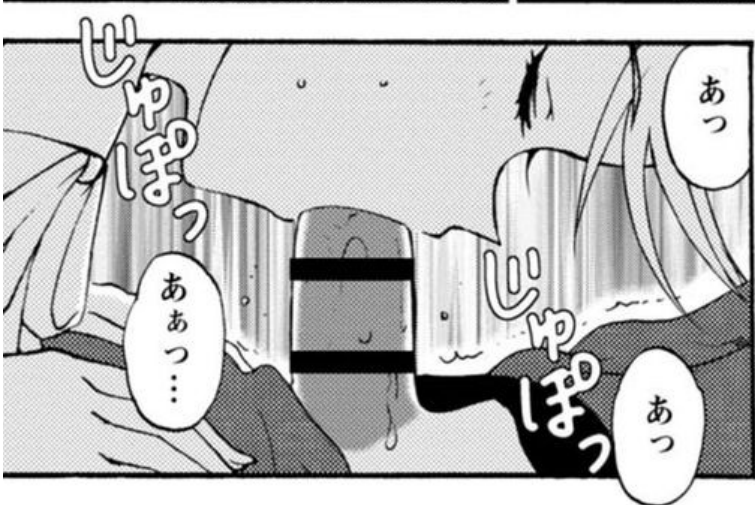
あああ
そうだな...

坊っちゃんま...
今日はもう
お休みに
なれますか
?



だから!
何でそんな
急に元気に
なるんだよ!!

くっ...
くっ...
こそっ...









坊っちゃま…いつも
お相手が一度で
満足するとは
限りません

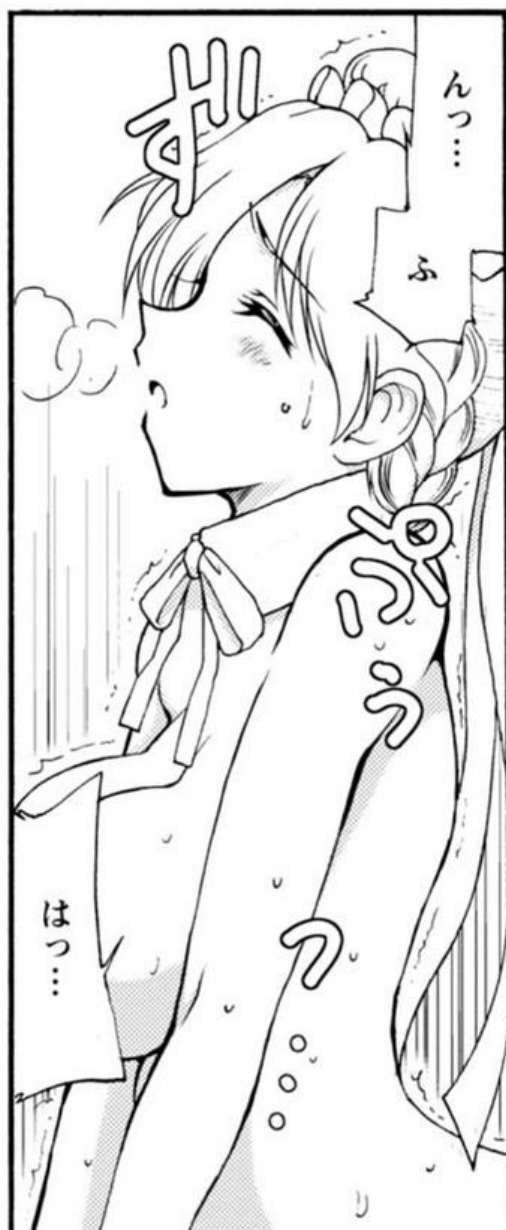
紳士たるもの
求められれば
何度でも
応じられるように
なっておきませんと



ま…待て
メアリー

まだ…
イッたばかり
で…

あッ



んっ…

はっ…



ん…

んちゅっ…



一見清楚な
女性も

夜は別の顔を
見せたり
するもの
ですよ？

はっ

…!!

はっ









キョッ

坊っちゃんま…
明日の朝は
いかが
致しますか？



もし
お疲れのよう
でしたら—



くそッ…！

さんさん
した後だつて
いうのに

ムク
ムクッ…

明日の朝って
言われた途端…
何でもう
カラダが
反応してるんだ
僕は…！！



別にメアリー
相手だからじゃ
ないぞ…多分
誰だつて…

坊っちゃんま？



だ…
大丈夫だ！

いつも通り
起こしに
来てくれ！



かしこまり
ました

ニク
…

では—
また明日の
朝に

僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第3話



今日は
お誘い下さいます
ありがとうございます
ございます

こうして
雄一様と2人で
食事なんて
夢みたいです！

大丈夫
ですよ

ボクの方こそ
食事に
ご満足頂けるか
心配で――

正直今…
すごく緊張
してますの

おかしいこと
しても
笑わないで
下さいね

そんな…
とんでも
ありません

雄一様と
ご一緒なら
それだけで十分
素敵な時間を
過ごせますわ！！

そう言って
頂けて
光栄です



わあっ
嬉しい！

勿論です

また
誘って
頂けますか？

本当に…
今日は
楽しかったです



私…
お待ち
してます
から！！

絶対
ですよ？



どこぞの
使用人とは
大違いだ！！

彼女と
いると実に
癒される

いやあ…
本当に
いいコだなあ

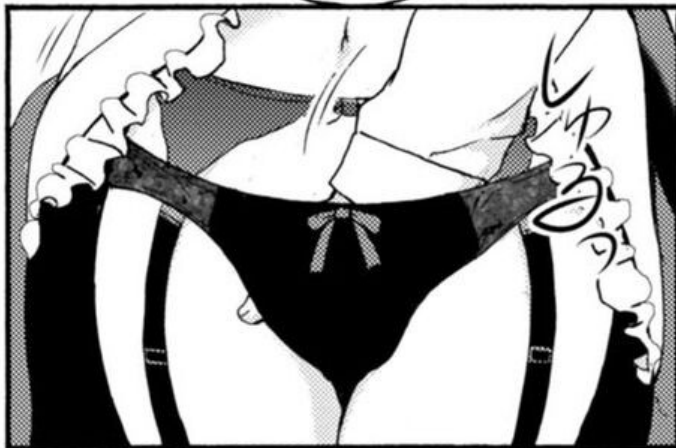


ああ

お帰り
なさいませ
！！



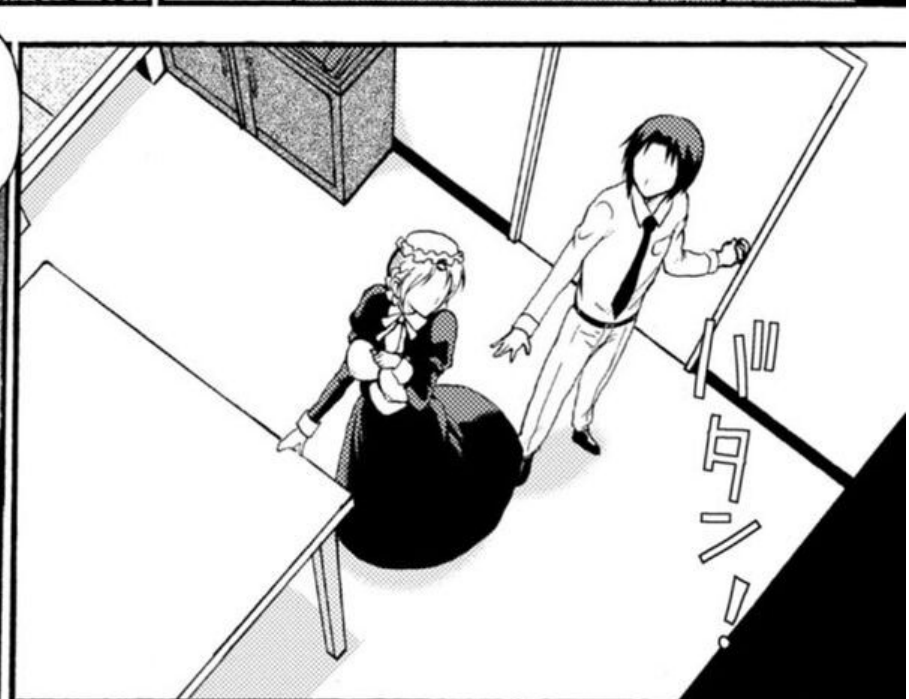


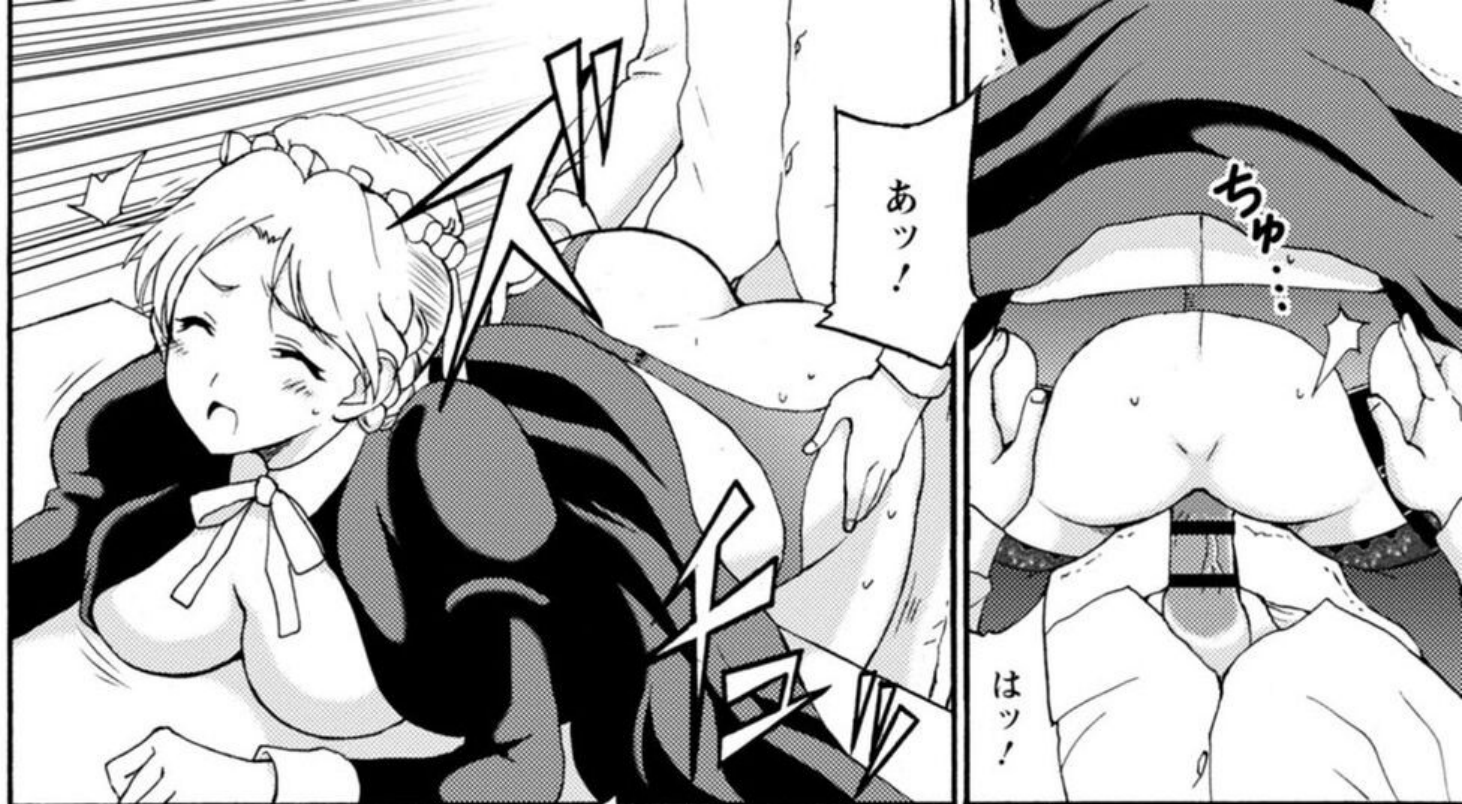














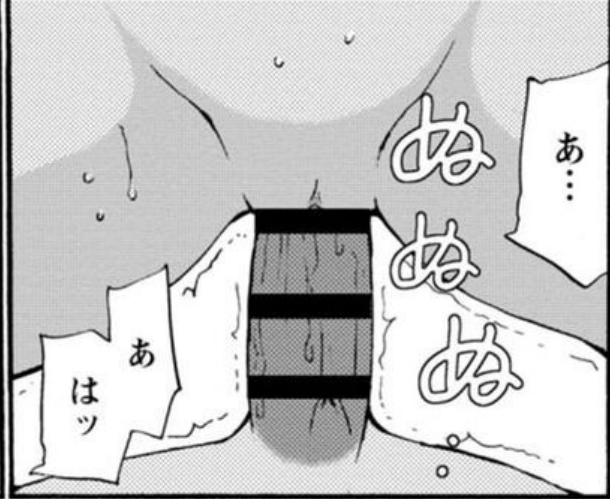
























僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第4話





担当替えなど
必要かい

却下だ!!



…やはり
気のせい
でしたね

何か
言ったか

いえ…



お前に
やられっ放しは
気に食わないから
付き合ってるだけだ

それを
忘れるなよ
メアリィ



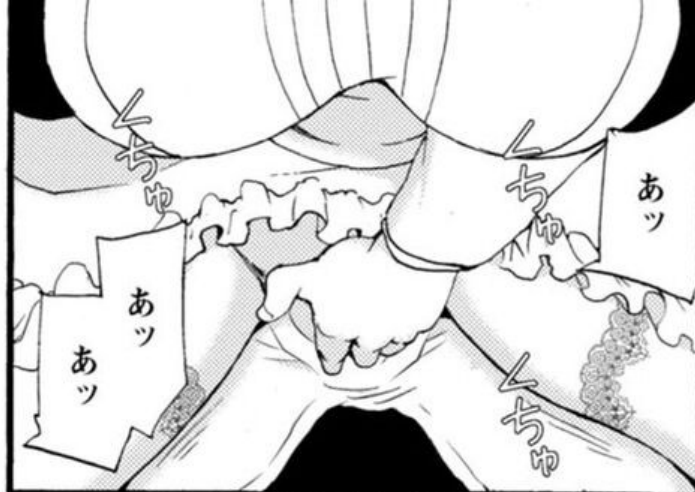
ですが
坊っちゃんま

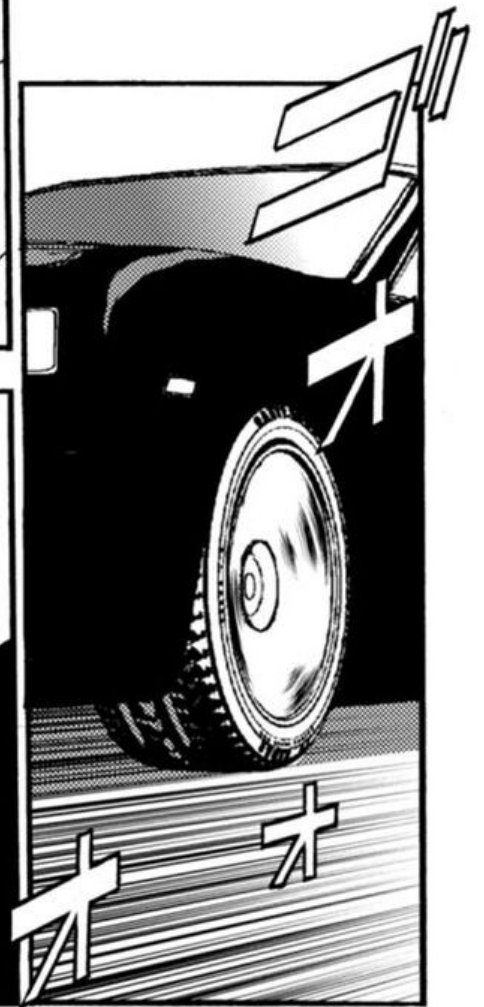
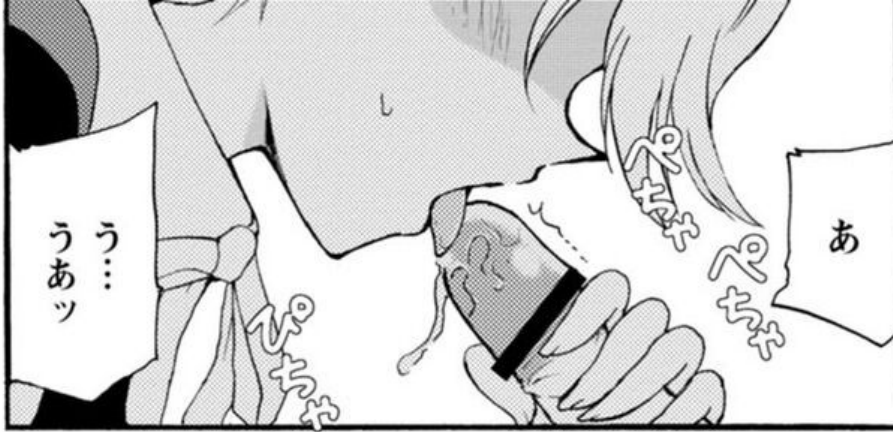
元々持ち回りの
予定でしたし…
様々な相手と
経験を積んでみるのも
よいことではないかと

そもそもボクは
奉仕担当自体
いなかったらう
言っただろう







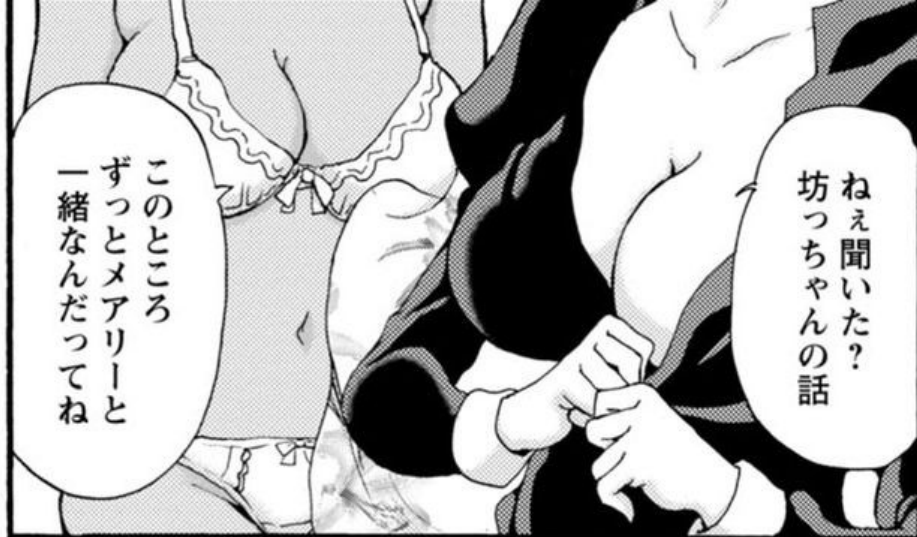






そういうえば
確かに…屋敷の
色んなところで
見るわね

この間も…



ねえ聞いた？
坊っちゃんの話

このところ
ずっとメアリーと
一緒なんだってね



外出に
連れ出したりも
してるらしいわよ

きゃー

ウツソー！！



ええ…
そんなに
お気に入り
なんだあ

でも
メアリー以外の
奉仕係は
いないって
言ってるんでしょ
？



よっぽど
離れたく
ないのねー



まさかメイドに
本気になったり
しないでしょ

流石に線引きは
できてるんじゃない？



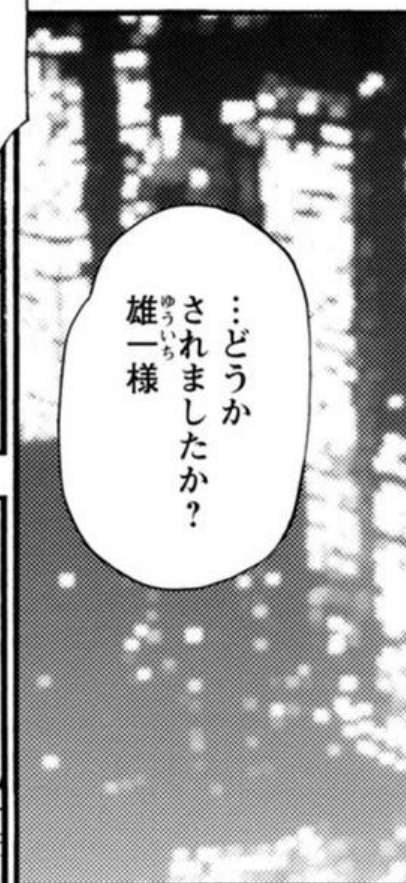
婚約者との
お話も進んでる
でしょうに

そこまで
入れ込んで
大丈夫かしら



えっ
な…何が
でしょう!?

その…
今日は
ずい分お静か
ですから…



…どうか
されましたか?
雄一様
ゆういち様



ひよつとして
退屈なさって
いるのではと…

とっ
とんでも
ないです!!

すみません!!
ちよつと
考えごとを
してまして…



イメージが
壊れましたか
?

いえそんな…
私の勝手な
思い込みで

本当はとても
やさしい方
なんだなって…



私…雄一様は
もっと近よりがたい
方と思ってました

以前は緊張して
お話できません
でしたから…



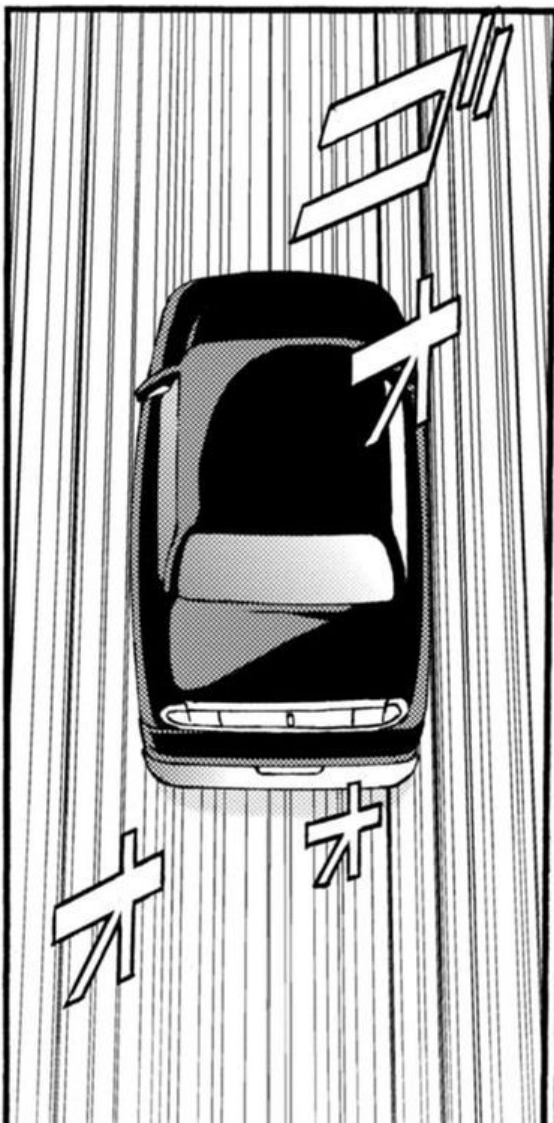
あつ…



今は雄一様が
より身近に
感じられて
嬉しいです

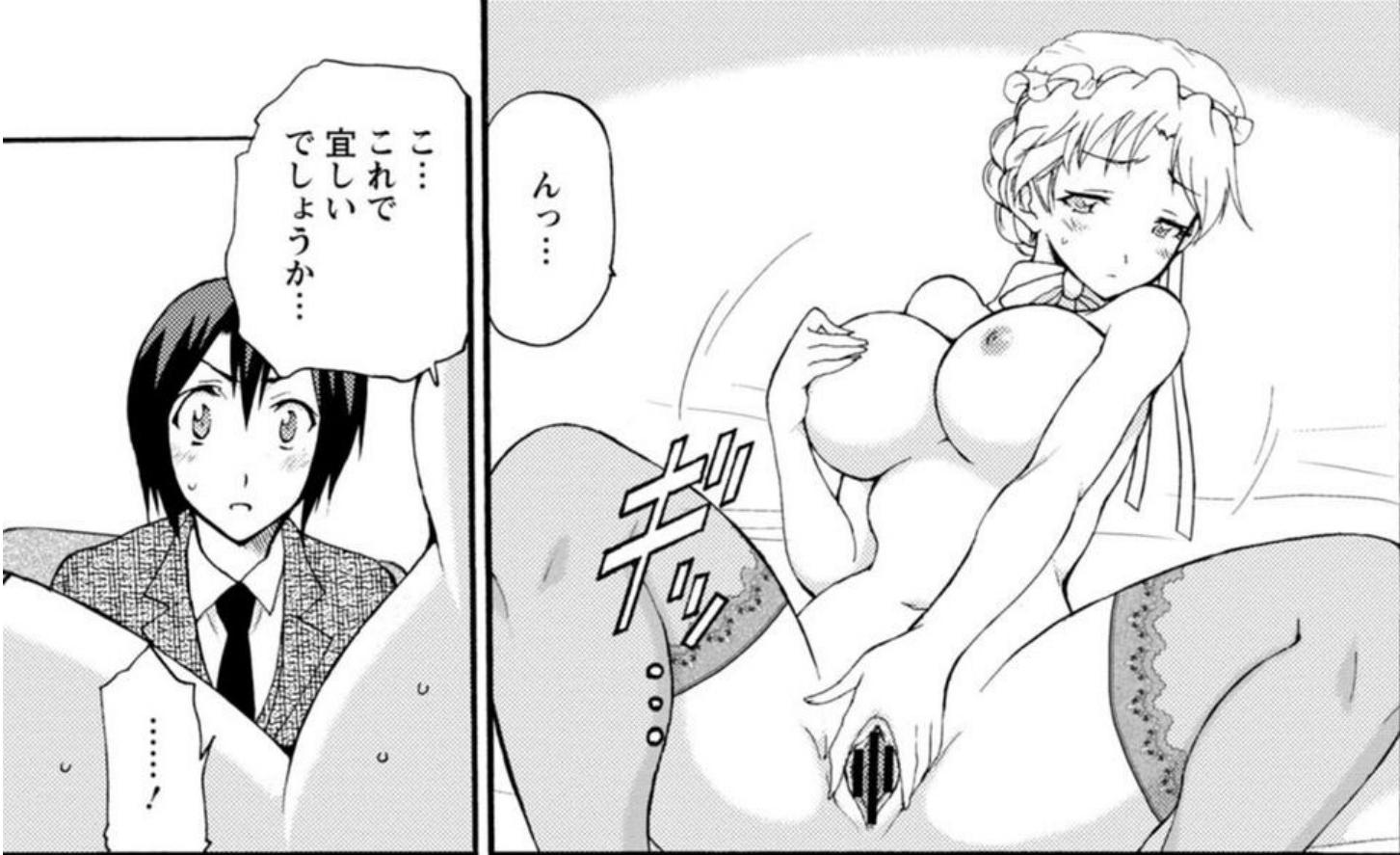
香織さん…
かおり







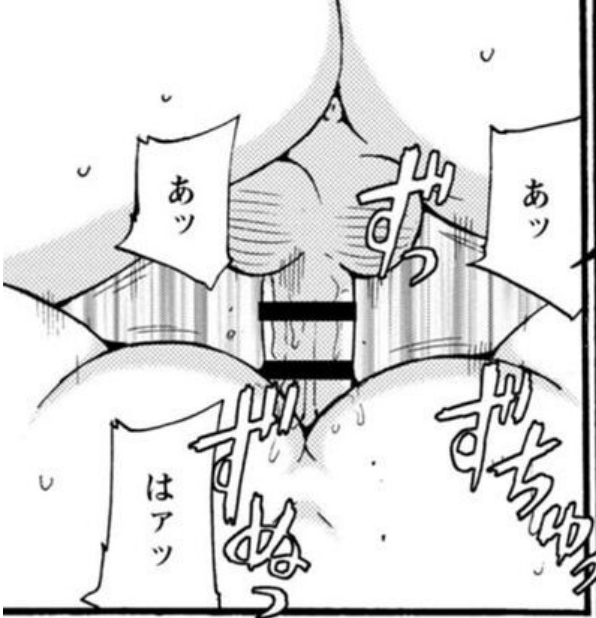
















妻に
なつて
くれないか

フフツ…
いけませんよ
坊っちゃんま

また
そのような
ご冗談を

……

坊っちゃんま…？

僕専属メイドが言うことを聞かない ～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第5話



最初は
ナマイキな女
としか
思わなかった



主人への
敬意なんて
かけらもない

□うるさい
性悪だし



肌を重ねる
ように
なってるから

いつも
やり込められて
ばかりなのも
気に入らなかった

その印象が
変わることは
なかった



でも



それまで
気づか
なかった
一面が



その内
段々と

少しずつ
見えてくる
ようになって

昔からずっと
親が決めた
相手と一緒に
なるつもりでいた

それなのに

そこに何の
疑問も
持たなかったのに

今は――



風が気持ちいい
ですね！

わあ――…

オオ

オ

オ

オ

オ

ああ

そうだな！

今日は
メアリーと
デートコースの
下見に来ている

コースの
下見……
ですか？

ああ

エスコートの
予習に相手役が
いると助かるん
だが――

かしこまり
ました

そういう
ことでしたら
お供致します

勿論これは
ただの口実だ

メアリー

妻になって
くれないか

坊っちゃんま……

悪い
冗談は
おやめ下さい

あの夜

メアリーは
そう言って
部屋を
出て行った

今回メアリーを
連れ出した
目的は
ただ一つ――



これは
気の迷いや
勘違い
なんかじゃない

メアリーだって
それは
分かってる
はずなんだ



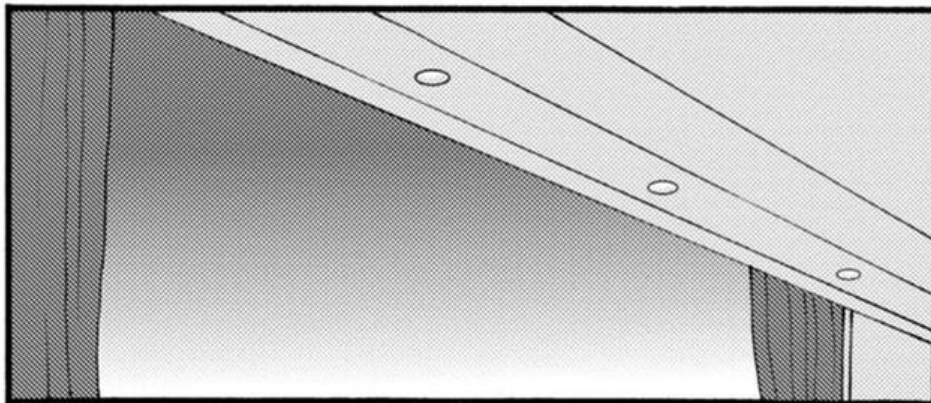
あれから
数日――

メアリーへの
気持ちは
まるで収まる
気配がない



冗談なんかで
終わらせて
たまるか…

メアリーに…
本気の気持ちを
伝えるんだ!!



んっ

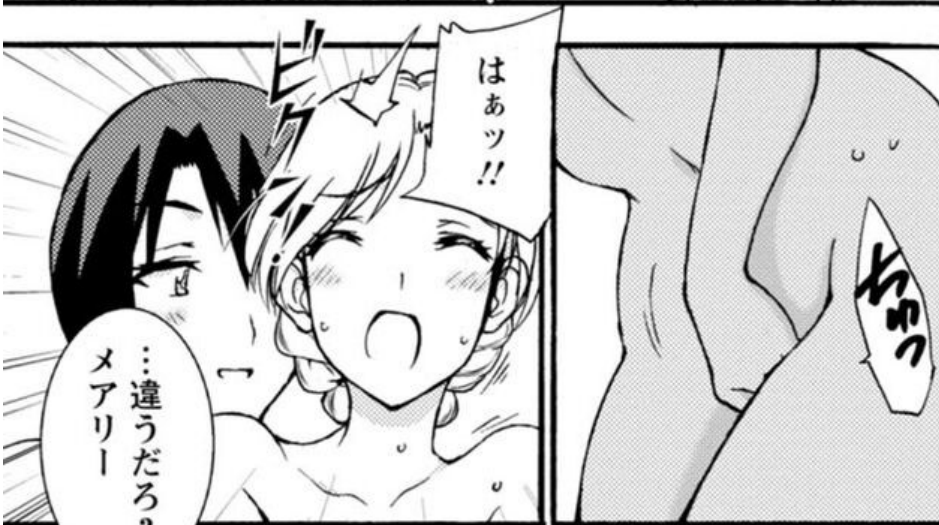
んっ

んっ…













はアツ!!



ちゅっ...

あ...



ちゅむ

ちゅ♡

んっ

んむっ...



ちゅっ

ちゅっ

はちゅっ

やつ...

はアツ

雄一...様あ



はッ...

すぬっ

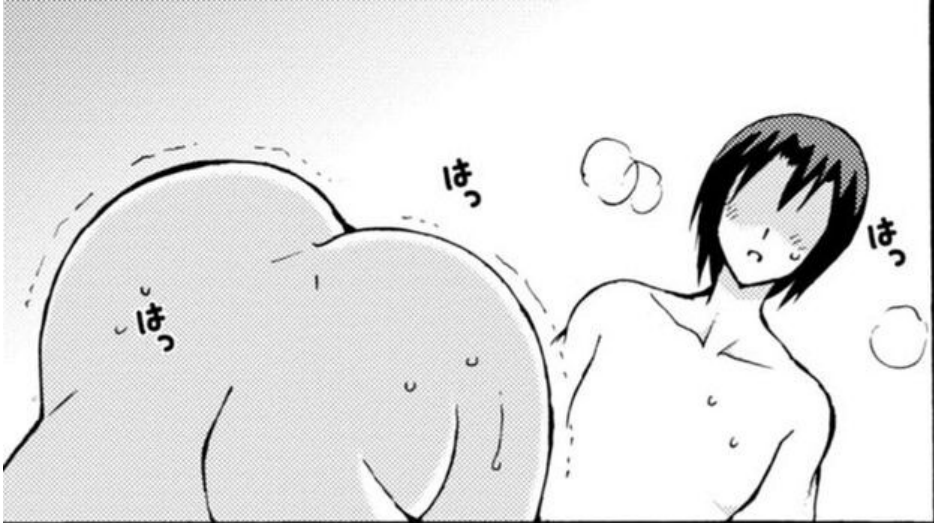
あッ

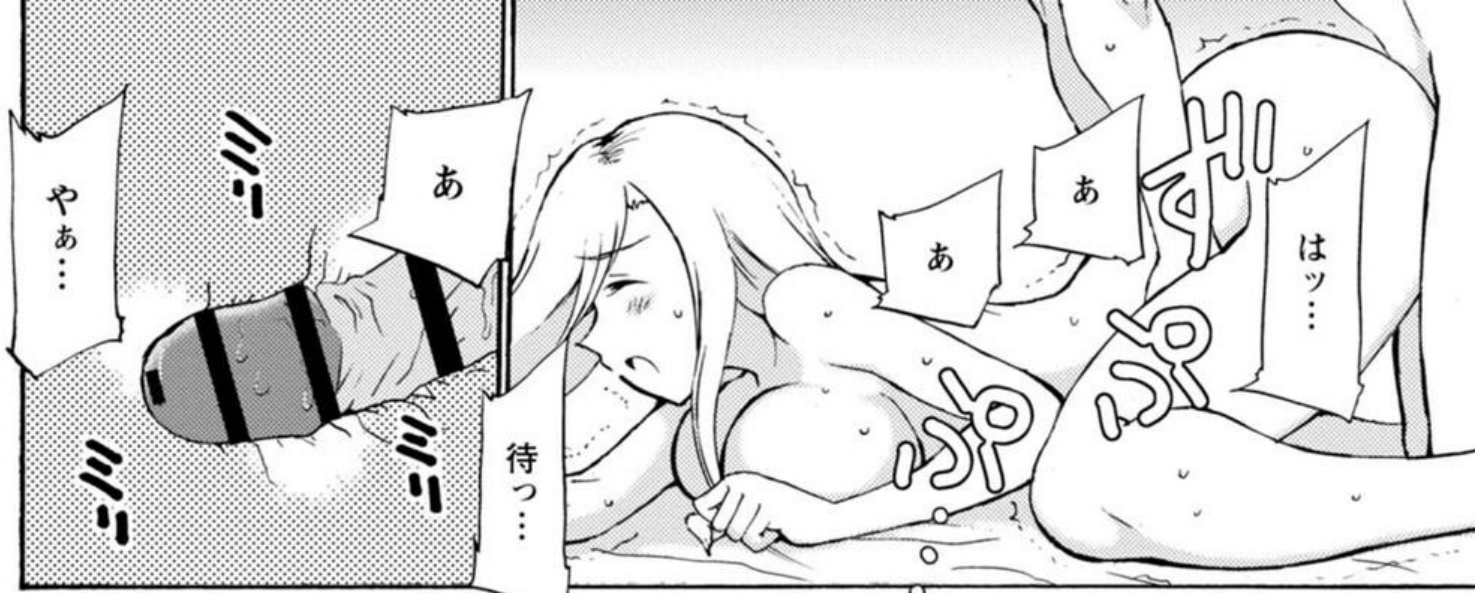


あッ...

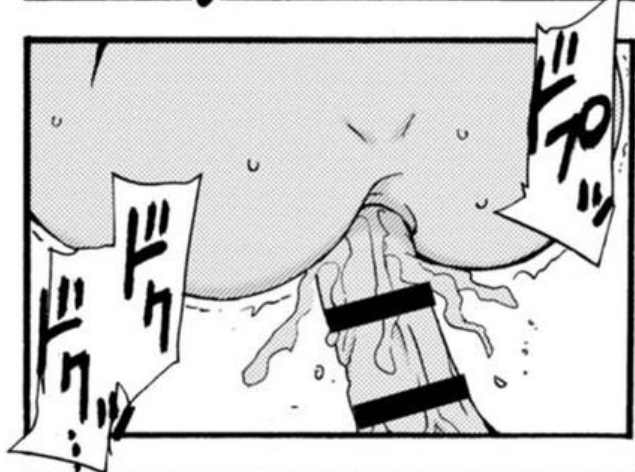


あアツ...ん





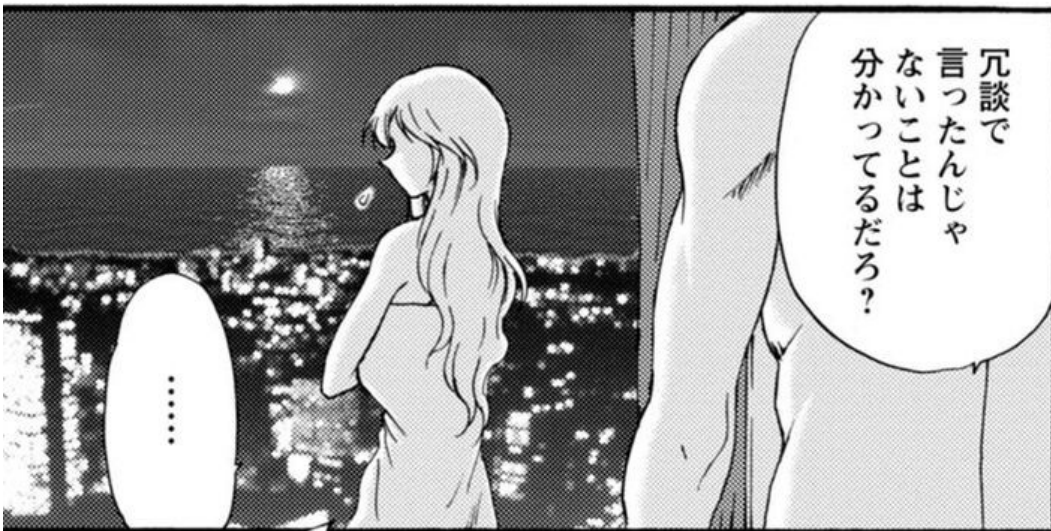






メアリー

あの夜の返事を
聞かせて
くれないか



冗談で
言ったんじゃ
ないことは
分かってるだろ？



ワガママで
高飛車で…
皆からはきつと
嫌われてる
だろう

でもこの
気持ちだけは
本物なんだ!!

メアリー…
ボクは決して
いい主人じゃ
ないかもしれない



ボクはもう
お前のことしか
考えられない

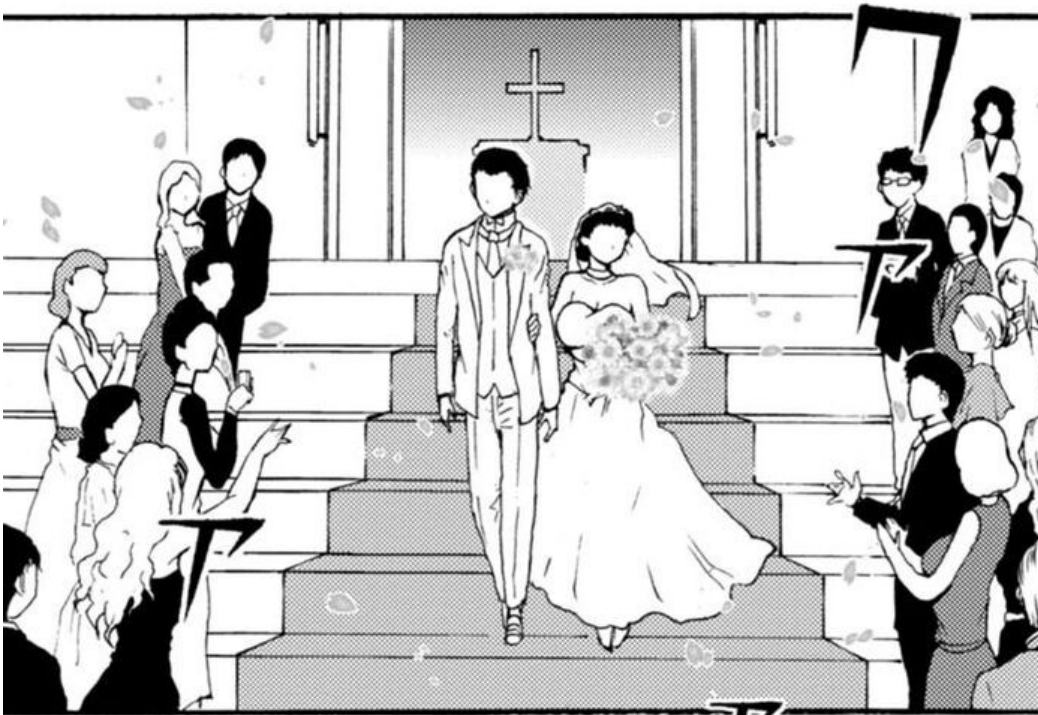
必ず幸せに
する!!
だから

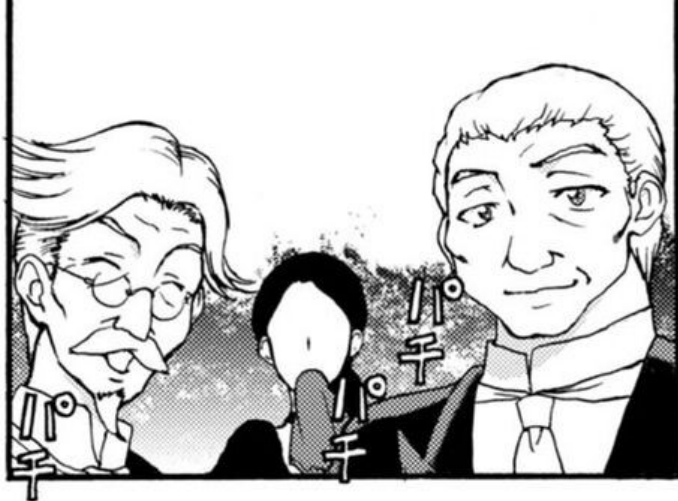


…申し訳
ありません

雄一様の
お気持ちに
お応えすること
は
できません



















僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第6話



坊っちゃん

ここをお開け
下さい

坊っちゃん!!

もう何日も
閉じこもりつ
きりで...

うーん...
どうした
ものかな



...そうですか
初めての夜に
そのような
ことが...

...きっと
私に魅力が
足りなかったのね
だから
雄一さんゆういちは...

そんなことは
ないと思
いますが
.....



あんな
ステキな方なら
さぞ数多くの女性を
渡り歩いたでしょうし

いえ...
きっと
そうよ

私なんかじゃ
ご満足
頂けないのも
無理はないわ
:

メアリー...
あなたずっと
雄一さんに
仕えてるのよね

こういうとき
どうしたら
いいのかしら?

そうですね
:



少々荒療治が
必要かも
しれません



…夜分に
すみません
坊っちゃま
メアリー
です



奉仕!!
ボクはもう
妻のいる身
だぞ!!
そんなもの

ご心配なく
奥様の了承を
頂いてます



…メアリー
だと?

な…何の
用だ!!

夜の
ご奉仕に
参りました



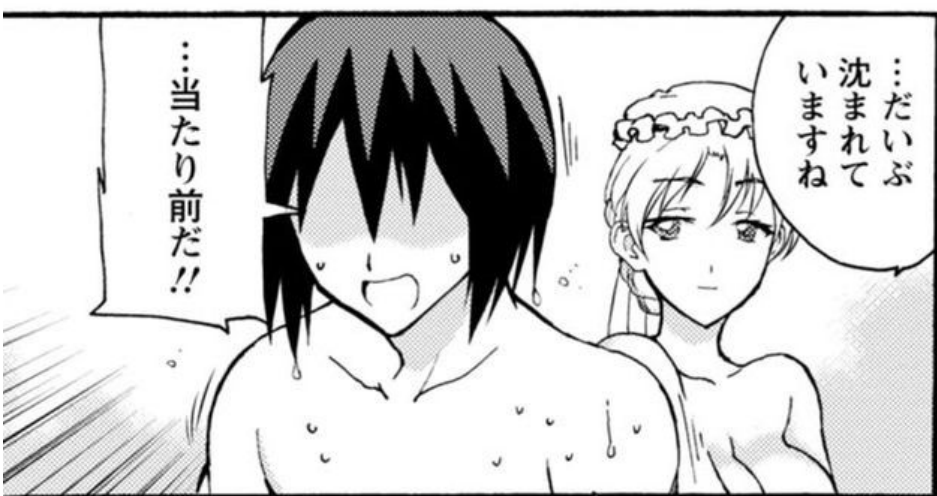
ここを
開けて
頂けますか?

なっ…!!

夫を癒して
あげて欲しい
とのことだす

……

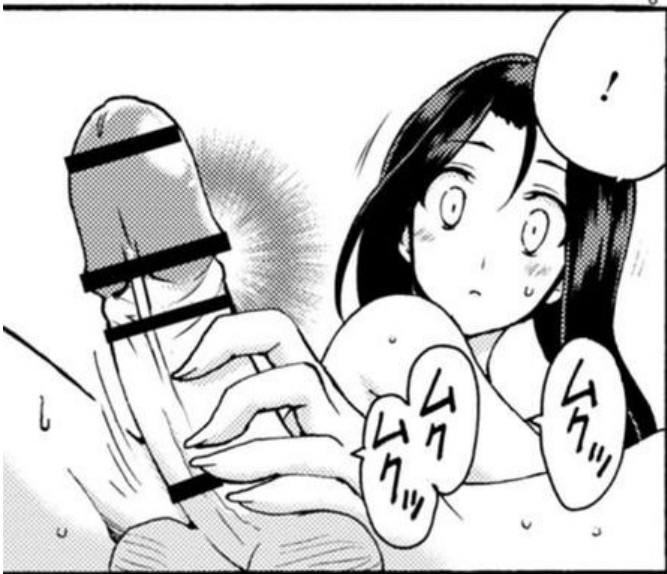
ゴクッ…

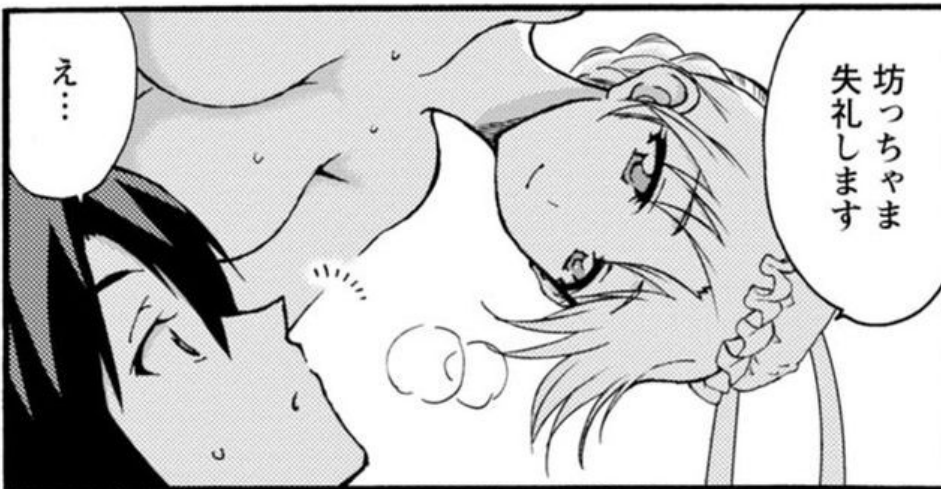


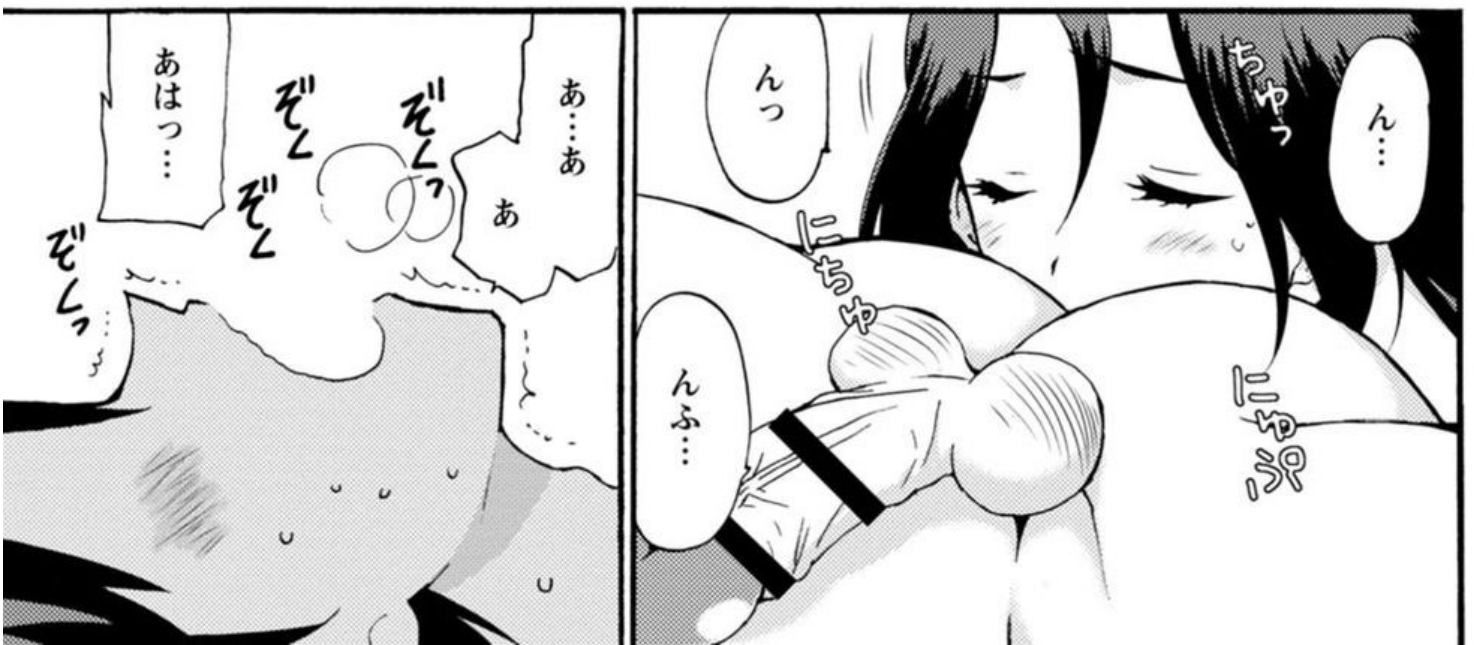
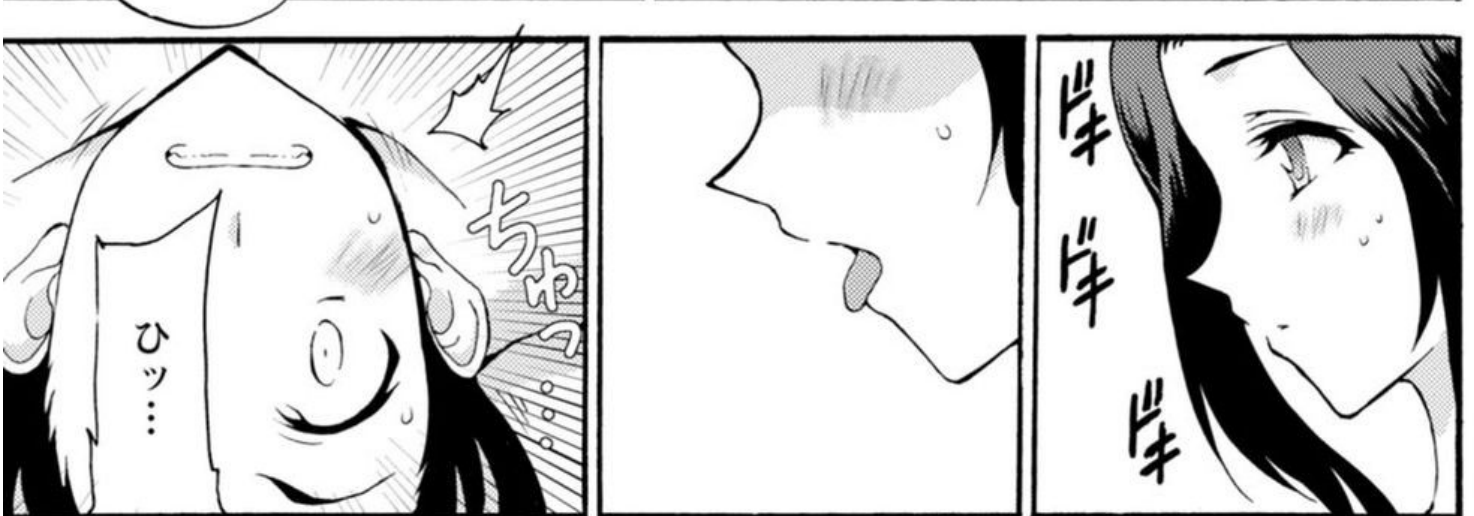


















ま...
待って
香織

まだその...
イッたばかり
だから...

ポッ!



雄一さん

もつともつと
気持ちよく
して
さしあげますね

えっ

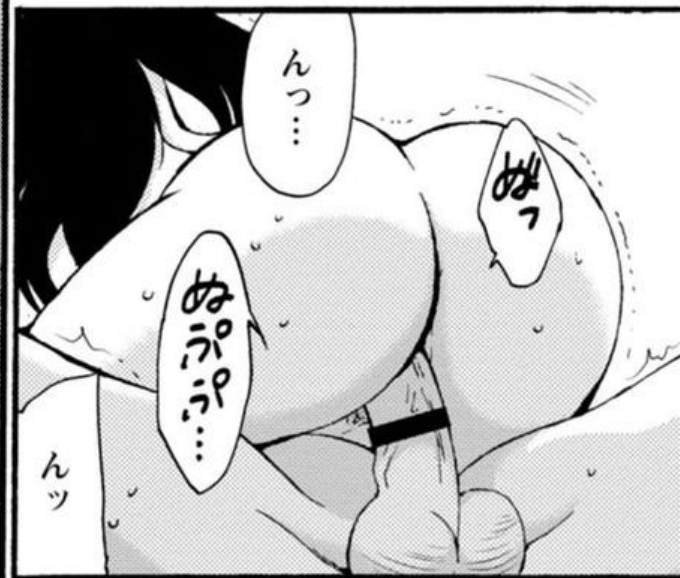


はっ...

あつ...



大丈夫です...
ゆっくり
しますから



んっ...

ぬっ...



あ

あ

あ

あ





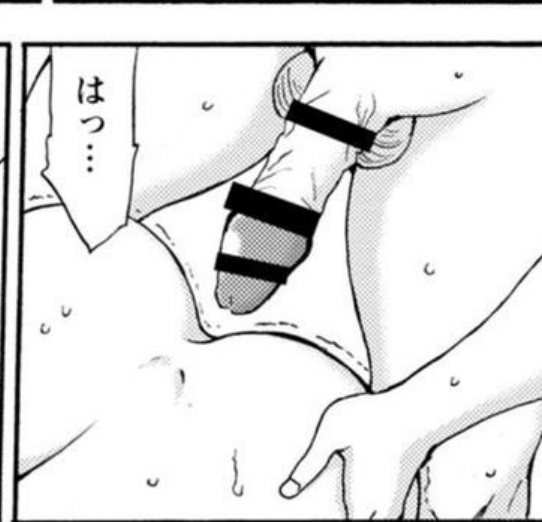


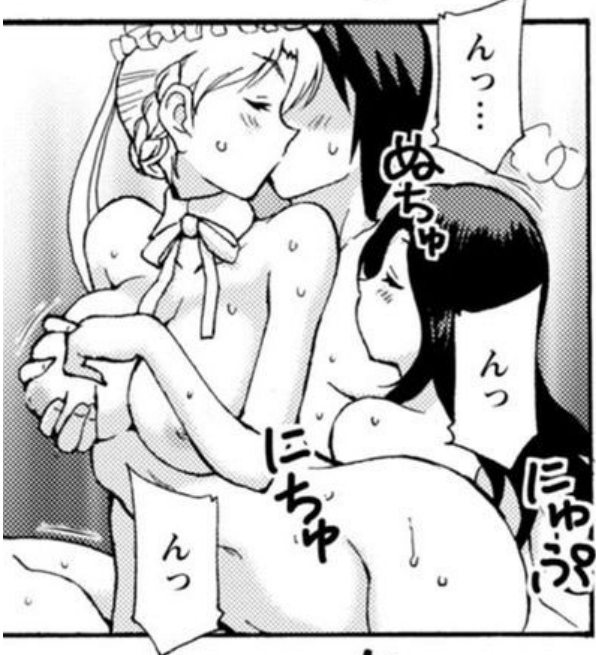




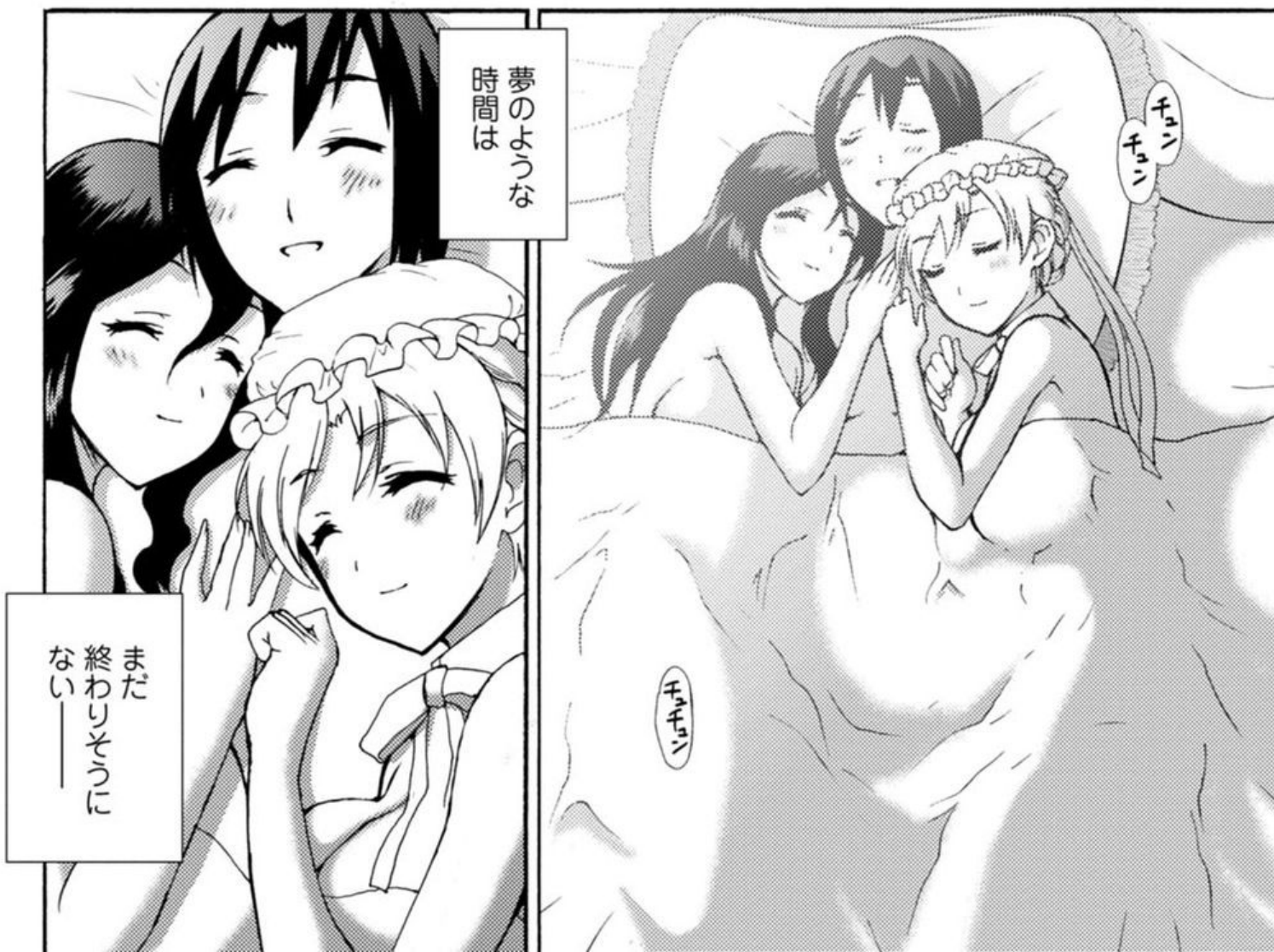












END

**僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転!?!～**

**【R18 版】
【増量版】**

乙丸

© 乙丸／秋水社ORIGINAL